

③8 東京都市計画道路環状第2号線（築地・新橋間）整備事業

受賞機関 東京都 第一建設事務所

キーワード 臨海部と都心部を結ぶ交通・物流ネットワークの強化

全建賞審査委員会の評価ポイント

環状第2号線本線トンネルの開通により、臨海部と都心部を結ぶ重要な幹線道路として全線が完成。臨海部と都心部を結ぶ交通・物流ネットワークを強化し、並行する晴海通りの渋滞緩和など、地域交通の円滑化を実現した。さらに、開業後には所要時間短縮や並行する街路の交通量減少による渋滞緩和が確認された点が評価された。

1. はじめに

環状第2号線は、江東区有明を起点とし、千代田区神田佐久間町を終点とする全長約14kmの主要な骨格幹線道路である。このうち、未開通であった築地・新橋間の本線約1.4kmの区間が令和4年12月18日に開通し、令和6年度に側道を含め、すべての整備を完了した。これにより、臨海部と都心部を結ぶ大動脈が完成した。



環状第2号線（築地・新橋間）開通式（令和4年12月18日）

2. 事業の概要

本整備区間は、本線トンネル、掘割構造、地上部の道路及び側道から構成されている。施工中にも都心部と臨海部とのアクセス路として機能させるため、地上部では、段階的に暫定道路を整備し、供用を継続しながら工事を進めた。

暫定道路は、埋蔵文化財調査や地下支障物撤去等を進めながら、築地市場移転と並行して整備を進めた。開場する新市場への主要な道路として、また東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会時には競技場と選手村、車両基地を結ぶ主要な輸送路として機能した。

3. 事業の成果

令和4年12月18日の環状第2号線全線開通6か月後に実施した交通量調査では、開通した本線トンネル区間では約25,000台/日の車両が通行しており、六本木通り溜池交差点と豊洲市場前交差点間の所要時間が約20分短縮された。また、並行する晴海通りの交通量が46,470台/日から38,306台/日へと約2割減少し、自動車交通の転換と渋滞緩和等の整備効果が示された。この整備により、都心部と臨海部のアクセス性が大きく向上し、晴海通りの交通量が減少するなど、整備効果（ストック効果）が発現している。



環状第2号線（築地・新橋間）交通開放（令和4年12月18日）

4. おわりに

東京の道路は、都市活動や都民生活を支えるだけでなく、交通渋滞の解消や拠点間の連携強化を通じて、経済成長の促進や国際競争力の強化にも貢献し、防災性や安全性の向上にも寄与する、極めて重要な都市基盤である。

都民の皆さまをはじめ、関係機関の方々のご理解とご協力をいただき、環状第2号線の事業を完了できたことを感謝申し上げます。

賛助会員 大成建設(株)、大日本土木(株)、西松建設(株)、清水建設(株)、鉄建建設(株)、福田組(株)、鹿島建設(株)、青木あすなろ建設(株)